

オーケストラ活動を安全に実施するためのガイドライン

2022/6/8 改定
浦和ユースオーケストラ

1. 練習時

(1)基本原則

- ① 人数制限、施設の備品の消毒など、使用する施設の指示事項に従う。その他の詳細は以下の通り。施設の基準が下記と異なる場合は、基本的に施設側の指示に従う。
- ② 参加者の氏名・体調・体温を記録し、保管する(付き添いの保護者、家族も含む)。

(2)参加者への徹底事項

- ① 日々体調管理に努める。活動当日は来場前に検温し、平熱と比べて高い発熱がある場合は参加不可とする。検温を忘れた人はその場で検温する。
- ② 熱がなくても体調がすぐれない場合は、参加を控える(特に、鼻水・倦怠感・咳や、味覚障害・嗅覚障害の疑いのある場合)。
- ③ アレルギー鼻炎や喘息などにより、感染の心配のない鼻水や咳・くしゃみが出る場合は、活動に参加する前に事務局に申告する。事務局は申告があった内容を参加者に共有する。また席を離すなどの対策を取る。

(3)館内での行動

- ① マスクを着用する。その際、鼻と口をしっかり覆う。
- ② 適宜、手洗い・手指消毒を行う。手指消毒液は団で用意する。
- ③ 室内で会話をする場合は一定の間隔を空ける。

(4)練習環境の設営と消毒

- ① 団員が使用する楽譜については、練習の都度の配布・回収は当面行わない。各自が持参した物を使用する。
- ② 練習終了後、施設の指示に従い、使用した用具(椅子・長机・会場備え付けの譜面台)・ドアノブ等の消毒を行う。消毒に必要な消毒液等は施設支給のものを使用するが、団でも用意する。

(5)楽器ごとの演奏上の留意事項

- ① 指揮者・トレーナー:楽団員との間隔を 2m 以上確保する。マスクを着用する。
- ② 弦楽器:楽団員間は 1.0m 以上確保する。マスクを着用する。
- ③ 管楽器:楽団員間は 1.5m 以上確保する。演奏時以外はマスクを着用する。以下のような飛沫対策を楽器に応じて行う。
 - ・楽器内外の結露は布や紙で処理する。トーンホールの結露を息で吹き飛ばさない。
 - ・使い捨ての吸水シート(団で用意)を床に敷き、結露などを吸わせる。
 - ・処理に伴い発生するゴミは、各自がビニール袋に密封し持ち帰る。
 - ・練習後は楽器を片付けたらすぐに手指を手洗い・消毒する。
- ④ 打楽器:楽団員間は 1.0m 以上確保する。マスクを着用する。楽器を共用する場合は適宜消毒を行う。

(6)休憩と換気

- ・ 約 1 時間おきに休憩を取り、10～15 分間の換気を行う。

2. 演奏会開催時

演奏会場の指示事項および、「クラシック音楽公演における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」(クラシック音楽公演運営推進協議会)等を参考に感染防止対策を実施する。

https://storage.googleapis.com/classicorjp-public.appspot.com/classic_guideline220516.pdf

※上記は、この後の感染拡大の状況や社会動向等に応じ適宜変更する。